

協議事項 4

授業時数の確保について

授業時数の確保について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和2年6月15日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 長谷川 達也

小学校 授業時数確保の考え方(基本モデル)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
4月8日～5月31日までの休業及び6月分散登校による損失時数	167	191	212	219	219	219

取り組み項目						
①長期休業中(夏休み・冬休み)の授業の実施						
夏休み 11日間(7/22、8/18～31)を授業日に設定	55	57	60	63	63	63
冬休み1日間(1/6)を授業日設定	5	5	6	6	6	6
小計①	60	62	66	69	69	69
②時間割編成の工夫						
短時間授業(15分や30分)を設定(年間の回数・1回15分として)※1	42 (128回)	64 (192回)	64 (192回)	64 (192回)	64 (192回)	74 (224回)
火曜日の6時間目授業等を設定(3年生以上)	—	—	44	44	44	44
小計②	42	64	108	108	108	118
③行事の見直しなど						
運動会や音楽会などの縮小による準備時間の削減、その他行事の削減等	38	38	38	42	42	32
生活上のオリエンテーション等	27	27	—	—	—	—
小計③	65	65	38	42	42	32
合計	167	191	212	219	219	219

今年度の予定時数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
6月～3月の予定時数	913	967	1046	1078	1078	1084
標準授業時数 ※2 (昨年度の標準授業時数)	850 (850)	910 (910)	980 (945)	1015 (980)	1015 (980)	1015 (980)

具体的な実施内容については、上記の基本モデルをもとに各学校園が定めます。

※1 短時間授業の15分と30分を合わせて45分授業とする場合もあります。

※2 標準授業時数とは、文部科学省が定めた時数。今年度より、3年生以上で外国語(活動)の時数が35時間増加しています。

中学校 授業時数確保の考え方(基本モデル)

	中1・2年生	中3年生
4月8日～5月31日までの休業及び6月分散登校による損失時数	212	212

取り組み項目		
①長期休業中(夏休み・冬休み)の授業の実施		
夏休み16日間(7/22～31、8/18～31)を授業日に設定	96	96
冬休み1日間(1/6)を授業日設定	6	6
小計①	102	102
②時間割編成の工夫		
短時間授業(15分)を年間132回設定 ※1	40	40
短時間授業(30分)を年間25回設定 ※1	15	15
水曜日の7時間目授業等を設定	25	25
小計②	80	80
③行事の見直しなど		
卒業式の後ろ倒し	—	30
トライやる・ウィークの期間短縮、野外活動・球技大会の縮減等	30	—
小計③	30	30
合 計	212	212

	中1・2年生	中3年生
今年度の予定時数		
6月～3月の予定時数	1075	1067
標準授業時数 ※2	1015	1015

具体的な実施内容については、上記の基本モデルをもとに各学校園が定めます。

※1 短時間授業の15分と30分を合わせて45分授業とし、水曜日以外に7時間目を設定する場合があります。

※2 標準授業時数とは、文部科学省が定めた時数。